

～町民インタビュー～

武豊とわたし

Vol.16

## ミニトマトで笑顔をつくりたい

### 農家になろうと思ったきっかけは

中学時代に地元商店への職場体験をした時に市場で見た競り人が面白そうだなって思って、競り人になるなら野菜の勉強をしようと思い農業高校に進学しました。しかし、農業関係で就職したいと思ってても求人がなかったんです。それで、農業大学に進学して、その時に出会った農家さんの影響でチャレンジしてみようと思いました。

### お仕事の面白いところは

肥料を変えたり、水やりの時間を変えたりすると、花の数や葉の色が変わったりします。セオリーはあるんですけど、すべてその通りにはならないので、自分が考えて思った通りになった時はすごくうれしいです。上手いかわないことが多いんですけど、それはそれで次はどうしようかと考えるのも面白いところです。

### 神谷さんの目指すミニトマトとは

いつも食卓に並べられるくらいの価格で、おいしいミニトマトを作りたいです。「たまに」ではなくて「いつもの」おいしいトマト。保育園やマルシェでのミニトマトすくいは、食育にも繋がるかなと考えてますが、そこからトマトを好きになってもらい、トマト好きの人口を増やしたいです(笑)。あとは、単純に子どもの笑顔からパワーをもらえるので楽しくてやっている面もあります。

### 今後の目標は

武豊町内すべての保育園でミニトマトすくいの体験をしてもらうことです。体験をしてもらって、トマトを好きな子どもが一人でも増えてらうれしいです。

また、食育にも力を入れていきたいので、将来は家族で来てもらい、収穫体験ができるような施設にしたいとも思っています。

### 教えて！どんな町になってほしいですか？

町内イベントが近隣市町より少ないのでマルシェなどのイベントを増やして活気あるまちになってほしい。そのための会場整備を。あとは、世代を超えみんなで協力して、子どもたちの未来を支えられるようなまちになってほしい。



プロフィール 神谷 一喜 さん  
Kamiya Kazuki

平成元年、半田市生まれ。  
神谷ふぁーむ 代表  
愛知県立農業大学卒業 就農9年目

- ◆令和4年産業まつり品評会 知多総合卸売市場社長賞 受賞
- ◆令和5年産業まつり品評会 JAあいち経済連会長賞 受賞